

西郷港玄関口まちづくり計画について

受付日：令和7年3月5日

回答日：令和7年3月13日

【ご意見の内容】

私自身として内心は、あまり関心ありませんでした。

名のある方の設計より、誰もが心穏やかに腰をおろして座れる大きな切り株や杉皮の屋根方が良いとさえ思っていました。知り合いの方が応募されてると聞き会場に足を運びました。建築に関わるそれぞれの専門家の思いや夢が託されていて、想像以上にワクワクしながら見て回りました。役場の方針である住民参加型、町民と共にとの計画案にも高揚感を持ちました。

一緒に行った友人は、知り合いの隠岐関係者が設計した建物なら都会にいる息子が誇りに思うと言いつ票しました。計画に興味を持ち始め、未来へ夢を託し投じたことは事実です。足を運んで投じた1票を決して無駄にしないようにお願いします。

【回答】

このたびは、西郷港周辺のまちづくり計画における施設設計コンペティション（企画提案競争）方式について、ご関心をお寄せいただき、また公開展示会場に足を運んでいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

いただきましたご意見について回答させていただきます。

今回の設計提案の選定にあたりましては、西郷港周辺まちづくりの理念を反映し、地域の特性を生かすことができる最適な設計案を選出するため、公募型コンペティション（企画提案競争）方式を採用いたしました。

この方式では、様々な発想による設計提案を幅広く収集し、それぞれの可能性や魅力を比較・検討することで、最もふさわしい設計提案を選定いたします。提案を評価する主軸は設計提案そのものであり、設計者の経歴や出身地が直接的な選考基準となることはございません。

審査は公正かつ公平な基準のもと、専門家で構成された審査委員会による、慎重な検討が行われました。

また、審査にあたりましては、町民の皆さまからの投票結果を、貴重なご意見として受け止め、審査会の参考情報として活用させていただきました。

なお、隠岐関係者の方のご提案は、結果として選定には至りませんでしたが、いずれのご提案も地域の未来を担う夢と工夫にあふれた素晴らしいものでありました。